

事業所名：地域密着型特別養護老人ホーム なつぼ

運営推進会議開催報告書 ①

開催日時 令和 6 年 4 月 16 日(水) 14:00 ~

参加者

家族：1 名

地域包括支援センター： 1 名

事業所： 職員 6 名

議題 内容

参加者自己紹介、施設長挨拶

- ①地域密着型特別養護老人ホームなつぼ 運営状況。
施設長：花見外出について、利用者様との外出を実施している。
アイスブレイク：下野市あまでら八重桜や幸手の菜の花と桜等の名所の話。

②施設における消防訓練及び災害対策訓練について
訓練状況を報告。別紙参照。検討内容以下。
 - ・大災害への備えについて、非常用電源はスプリンクラー、発電機があるが空調をまわすほどの電力確保はできない。費用も掛かるので対策検討となっている。
 - ・備蓄食料等は近隣からの避難者も想定している。3日を自助する程度を想定している。
 - ・火災や災害時に避難誘導後の利用者様の見守り等で近隣住民の助けを得られるとよい。特に夜間帯では職員数が少なく、駆けつけられる職員も限られてくるのが想定される。入居家族への協力要請も想定し準備・依頼・連絡をしておくのとよいのではないかと。→家族への案内方法等は検討改善を加える。近隣の協力体制を得られるような工夫を検討し実施していく。

家族様：近隣に住む家族としては協力できることはしていきたい。
いざ来た時に役割が明確になっているとよいと思う。

包括職員：BCP策定となって、地域連携が図られている。
個人情報、働き方改革等で課題も多いが施設の状況が分かり良かった。
能登半島地震ではDWA Tとして応援職員を2名派遣した。
派遣の職員からは、被災地の実際と平時の想定の違いが報告されている。
- 皆様からのご要望、ご意見等、お知らせしたい情報等
特になし
- その他
施設の年間計画について
今年度より平日開催とさせていただきたい。
第3週の火曜日14:00~隔月で予定。次回6月18日(火)